

鋼橋製作における仮組立検査の省略について

事務連絡
平成7年9月28日
建設省道路局
国道課課長補佐

1 対象橋梁

当面、鋼橋鈹桁（I形断面）、直橋、斜角 75° 以上の全ての条件を満たす橋梁を対象とする。

2 施工管理

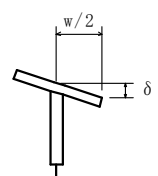
鋼橋製作における仮組立検査の省略する場合には、当面、土木施工管理基準および出来形規格値の規定にかかわらず、別紙「鋼橋の仮組立による検査を省略する場合の施工管理基準及び規格値（案）」を参考にされたい。

3 仮組立の検査を省略する場合の製作工数の低減

4 適用の時期

10月1日以降適用する。

「鋼橋の仮組立による検査を省略する場合の施工管理基準及び規格値（案）」

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所				
3	2	3	14	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$\pm 2 \dots\dots$ $w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots\dots$ $0.5 < w \leq 1.0$	主げた、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の 中央付近を測定。	 I型鋼げた				
							部 材 精 度			板鋼げた等の部材 の腹板	$h / 250$	主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)	
										箱げた等のフランジ鋼床版のデッキプレート δ (mm)	$b / 150$		
							フランジの直角度 δ (mm)			$w / 200$			
							部 材 長 l (m)			鋼げた	$\pm 3 \dots\dots$ $l \leq 10$ $\pm 4 \dots\dots$ $l > 10$	主要部材全数を測定。	

※規格値の w, l に代入する数値はm単位の数値である。

ただし、「板の平直度 δ 、フランジの直角度 δ 」の規格値の h, b, w に代入する数値はmm単位の数値とする。